

残留農薬検査(その4)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、平成29年11月下旬～平成30年2月に食品専門監視班、各区福祉保健センターが収去した農産物等の検査結果を報告します。

なお、平成29年11月下旬から、測定機器の変更に伴い検査項目を見直しました。

1 市内産農産物

11月に収去されただいこんの根(4検体)、キャベツ、にんじん(各3検体)、かき、キウイ、さといも、ほうれんそう及びみかん(各1検体)の計15検体、12月に収去されたはくさい(3検体)、キャベツ、にんじん(各2検体)、さつまいも、さといも及びブロッコリー(各1検体)の計10検体、2月に収去されたさといも(2検体)、キャベツ、さつまいも、だいこんの根、にんじん、ぶんたん及びほうれんそう(各1検体)の計8検体、合計33検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。だいこんの根からテフルトリン及びトルフェンピラドが各0.01ppm、ブロッコリーからアゾキシストロビンが0.02ppm検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

2 国内産農産物

2月に収去されたじゃがいも及びだいこんの根(各1検体)の合計2検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。その結果、農薬が検出されたものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で検出された農薬の概要については、5ページの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H29年11月下旬～H30年2月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農産物						
かき	横浜市	1	0			
キウイ	横浜市	1	0			
キャベツ	横浜市	6	0			
さつまいも	横浜市	2	0			
さといも	横浜市	4	0			
だいこんの根	横浜市	5	1	テフルトリン	0.01	0.1
			1	トルフェンピラド	0.01	0.2
にんじん	横浜市	6	0			
はくさい	横浜市	3	0			
ブロッコリー	横浜市	1	1	アゾキシストロビン	0.02	5
ぶんたん	横浜市	1	0			
ほうれんそう	横浜市	2	0			
みかん	横浜市	1	0			
国内産農産物						
じゃがいも	北海道	1	0			
だいこんの根	神奈川県	1	0			

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A*1	B*1	C*1	D*1			A	B	C	D
BHC (α , β , γ 及び δ の和)	0.005	○*2	-*2	○	○	トリアジメノール	0.01	○	○	○	-
DDT (DDE,DDD,DDTの和*3)	0.005	○	○	○	○	トリアブホス	0.01	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	トリコナゾール	0.01	○	○	○	-
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	トリフルラリン	0.01	○	-	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	トリフロキシストロビン	0.01	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	○	トルフェンピラド	0.01	○	○	○	-
アルドリリン及びディルドリン	0.005	○	-	○	○	ノバルロン	0.01	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	-	○	○	○	パラチオン	0.01	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	ピフェントリン	0.01	○	○	○	○
エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	ピラクロストロビン	0.01	○	-	-	-
エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○	ピリダベン	0.01	○	○	○	○
エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○	ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○
エンドスルファン(α 及び β の和)	0.005	○	○	○	○	ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○
エンドリン	0.005	○	○	○	○	ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○
オキサミル	0.01	○	○	○	○	ピリモホスメチル	0.01	○	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	○	ピリメタニル	0.01	○	-	-	○
カルプロバミド	0.01	○	○	○	-	ファモキサドン	0.01	○	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	○	フィプロニル	0.002	○	○	○	○
クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	フェナリモル	0.01	○	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	-	フェントロチオン	0.01	○	○	○	○
クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○
クロルプロファミ	0.01	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○
クロロクスロン	0.01	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	-	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	-
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○
シニドンエチル	0.01	○	○	-	-	フルジオキソニル	0.01	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	-	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	-	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	-	プロパホス	0.01	○	○	○	○
シラフルオフエン	0.01	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○
チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○
チアメキサム	0.01	○	-	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	-	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
ボスカリド	0.01	○	○	-	○	メトキシフェノジド	0.01	○	○	○	○
ホスチアゼート	0.01	○	○	○	-	メトラクロール	0.01	○	○	○	○
マラチオン	0.01	○	○	○	○	リニュロン	0.01	○	○	○	○
マイクロブタニル	0.01	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.005	○	○	○	○
メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	○	○	○	○
メチダチオン	0.01	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○

*1 A: にんじん、ブロッコリー、ほうれんそう B: キャベツ、だいこんの根、はくさい

C: さつまいも、さといも、じゃがいも D: かき、キウイ、ぶんたん、みかん

*2 ○: 実施、-: 実施せず

*3 DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【農薬解説】

○アゾキシストロビン

『アミスター』などの商品名で販売されている殺菌剤です。今年度実施した検査において、すもも(山梨県産)、トマト(北海道産)、きゅうり、日本なし及びぶどう(市内産)、からも検出されました。

○テフルトリン

『フォース』などの商品名で販売されているピレスロイド系の土壌殺虫剤です。今年度実施した検査において、こまつな(市内産)からも検出されました。

○トルフェンピラド

『ハチハチ』などの商品名で販売されている殺虫剤です。広範囲な害虫種に対し速効的に殺虫効果を示し、特に防除が難しいコナガ、アブラムシ類にも効果があります。

※参考文献

- ・一般社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2016年版

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】